

インフォメーション

医療と介護。そして、その未来へ。

スタッフ
募集

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- ミズノ胃腸科・内科・整形外科
- 介護老人保健施設 おひさま園
- 森小路清水会クリニック
- トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
- 鶴見緑地病院橋波リハビリセンター

社会福祉法人 清水福祉会

- 特別養護老人ホーム／養護老人ホーム さくら苑
- さくら苑 デイサービスセンター太子橋
- ケアハウス鶴見緑地
- 特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
- 特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
- サービス付き高齢者向け住宅 さくら
- 介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地
- 小規模多機能ホーム さくら
- 特別養護老人ホーム 城東さくら苑



清水会グループ 統括本部 採用係

〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12 ☎06-6952-5188
ホームページ <http://www.seisuiikai.net/> ホームページに求人詳細を掲載しています

編集後記

- ▼ 鶴見緑地病院での新しい取り組みである「訪問診療」、在宅生活困難と施設入所がイコールで結ばれる概念はもう古いかもしれません。ご本人さま、ご家族さまにとって最良のケアを提供できる地域医療の場となるようにグループ一丸となって、今後もさらなる発展に努めて参りたい所存です。
- ▼ 清水会グループでは、平成30年度の海外からの入職者数は11名にのびります。皆さんそれぞれの施設で元気に働いています。初めは慣れなかった国風の違いにも次第に馴染んできました。職員同士、日本の良さ、外国の良さを分かち合いながら、これからも元気に明るく共に頑張っていけます。
- ▼ web介護記録システム「c-repo」必須研修教材システム「けあすた」を導入致しました。従来の方法と異なる点が多く、戸惑う事もありますが、どちらも業務の効率化に大変貢献してくれています。
- ▼ 季節の変わり目で肌寒い時期になって参りました。ごぼうで食物繊維をたっぷり摂って風邪に負けない丈夫な身体を作り、これからの季節を乗り切りましょう。

清水会グループ



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 図06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 **おひさま園**
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 図06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 図06-6952-5311



医療法人 清水会
森小路 清水会クリニック
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070 図06-6952-7755



医療法人 清水会
トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6956-0505 図06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 **さくら苑**
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 図06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **さくら苑**
〒535-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 図06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 **ケアハウス鶴見緑地**
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 図06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **城東こすもす苑**
〒570-0039 守口市橋波西之町2-4-19
☎06-6933-2002 図06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **鶴見緑地苑**
〒570-0032 守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005 図06-6995-5225



社会福祉法人 清水福祉会
サービス付き高齢者向け住宅 **さくら**
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007 図06-6952-7733



社会福祉法人 清水福祉会
介護付き **鶴見緑地**
〒570-0043 守口市南寺方東通1-1-31
☎06-6997-9009 図06-6992-9009



医療法人 清水会 **鶴見緑地病院**
橋波リハビリセンター
〒570-0039 守口市橋波西之町2-4-19
☎06-6991-0030 図06-6991-0220



社会福祉法人 清水福祉会
地域密着型サービス **さくら**
小規模多機能ホーム
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-17
☎06-6954-7100 図06-6955-6500



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **城東さくら苑**
〒536-0004 大阪市城東区今福西6-15-1
☎06-6939-7000 図06-6939-7010
平成31年4月オープン予定

URL <http://www.seisuiikai.net/>



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

- 02 鶴見緑地病院 訪問診療について
- 03 施設紹介&入居者インタビュー(サ高住さくら)
- 04 外国人初(介護職)の就労者にインタビュー(ケアハウス鶴見緑地)
- 05 c-repo(介護記録ソフト)の導入について/e-ラーニング「けあすた」を導入
- 06 <クローズアップ>認知症カフェについて(有料老人ホーム鶴見緑地)/気になる症状
- 07 ケアマネ研修/レシピ紹介

表紙写真/「花シリーズ」マツムシソウ
撮影/山内康雄Dr.(鶴見緑地病院)

2018.09.Vol.23

鶴見緑地病院 訪問診療について



ABE/MASAHUMI
安部 益文 医師

現在、鶴見緑地病院では地域にお住いの患者さまに対して、要介護状態になられても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続して頂き、更に充実した医療が提供できるよう、「地域包括ケアシステム」の一環として、お一人での通院が困難な患者さまに対して、「訪問診療」を中心とした在宅医療体制の構築を行っています。

「訪問診療」とは医師が基本的に2週に1回、計画に基づいて定期的にお伺いし、診察を行うことです。

例えば、脳梗塞・脳出血の後遺症の方、認知症で通院が困難な方、パーキンソン病など神経難病の方、骨折後等で通院に介助が必要な方、ご高齢によって外出が困難な方にこの「訪問診療」をお勧めしております。

では、なぜ今在宅医療が必要なのでしょう？現在我が国では、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しています。

2025年には2179万人にも及ぶ方々が75歳以上の高齢者となることが予測されております。急増している高齢者の方々の、住み慣れた地域・ご自宅での生活の継続が支援できるように、

理念

1. 私達は 医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する。
2. 私達は 多くの方々に愛される施設をめざす。
3. 私達は 調和のとれた、豊かな人間性の育成につとめ、誇りと責任を持ち、日々研鑽を重ねる。

挨拶

この度、鶴見緑地病院にて訪問診療を担当させて頂くことになりました。高齢化社会の到来に伴って老人保健法が1982年に創設され、2000年に介護保険法の施行がありました。

また、近年、在宅医療の必要性が高まってきました。「訪問診療」は、患者さまが平穏に療養生活を送れる様、あらかじめ立てた診療計画をもとに、同意を得て、居家で診療を行うものです。患者さまが療養の場所を自らの判断で選択し、QOLを重視する考えによって進められており、在宅医療の基本的な業務と言えます。訪問診療を充実させていくには、多くのスタッフの方々との連携が必要です。

まだまだ、不慣れな部分も多く、ご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願い致します。

【プロフィール】

1974年順天堂大学医学部卒業。神戸大学第1外科に入局。消化器外科を主体に、神戸、大阪の病院にて勤務。趣味は読書(大衆文学)。スポーツジムで汗を流す。

全力を挙げて参りたいと考えております。

近年までは、入院治療を終えられた方がご自宅に戻ることが困難となられた場合、在宅生活の継続困難コール施設入所という概念がありました。しかし、厚生労働省の調査では介護が必要になっても自宅で暮らしたいという希望がご本人・ご家族とも75%を上回っていました。

鶴見緑地病院は、「施設入所、その前に…」訪問診療・訪問看護といった在宅医療を活用したご自宅での生活を送って頂き、予防も含めて医療面においてバックアップさせて頂くことで、「地域包括ケアシステム」の一翼を担うことに繋がると考えております。

在宅支援部門として高齢者の方々の尊厳ある生活を支え、安心して医療サービスを受けて頂くことで、可能な限り今の暮らしの継続をご支援できるよう、常に患者さま目線での医療を提供して参ります。



施設紹介&入居者インタビュー サービス付き高齢者向け住宅

さくらでは

Seisui

当住宅では、これまで暮らしてこられた自宅での「生活の継続」を目指しております。今の生活や将来に不安をかかえているが、今まで通り自由な生活を送りたい、という要望にお応え出来るように努めております。



お部屋にはこれまで使い馴染んだ、テーブルやソファ、テレビや冷蔵庫等の家財道具を持ち込んで頂きますので、施設入居ではなく自宅の住み替えとしての引っ越しになります。職員が24時間常駐しておりますので、お食事の際に毎回職員が訪問し、安否確認を実施しております。また、日常生活上の相談にも常時対応しておりますので、ご家族や介護保険・医療機関等との連絡調整も行っております。

ご自分で生活することが不安な方は、必要な介護保険のサービスを利用することによって、これまでの生活の継続が可能です。デイに通うことや、ヘルパーさんや看護師さんに居室まで訪問してもらうことも可能です。

医療面では、建物の目の前が診療所となっており、同一建物内には人工透析クリニックと訪問看護ステーションがあります。

訪問看護と連携を取ることで24時間の

フォローが可能となりより安心できる生活が送れます。

ご入居後も、近隣のスーパーまで買い物に出かけたり、ご家族と定食屋さんから出前を取って部屋で持ち込みの食事を楽しんだり、運動の為に近くの公園まで散歩に出かけたりすることが可能です。

【ご利用料金】

基本料金	家賃相当額	家賃に要する費用	42,000円
	共益費	共有部分の管理にかかる費用	38,800円
	生活支援サービス費	状況把握、生活相談、その他フロントサービスに対する費用	10,800円
	食事代	1日の食費1,640円 (朝:310円、昼:610円、夕:720円) ※喫食数のみ請求となります	最大 50,840円 ※31日の月
	1か月間(31日)の基本料金合計		142,440円

*入居者さまのご感想 「“手頃な広さでも楽しい我が家”です」

入居されて4年になるYさま(94才)に、サービス付き高齢者向け住宅さくらでの生活の様子を語って頂きました。

この施設ができた時に見学に来ました。

その時、もし将来入居するときに来れば、ぜひサ高住さくらに入居したいと思っていたのですよ。目も耳も不自由はありませんが、腰椎の圧迫骨折とヘルニアで自由に動くことができません。

でもごらんの通り、ベストポジションバーを付けてもらっているのも、部屋の中の動きは助かっています。一日の生活は、テレビを見たり、ぬり絵をしたり、コロコロを使って身の回りのゴミを取ったり、楽しく過ごしています。食べ物もおいしく作ってもらっていてありがたいです。職員の方も親切ですし、病院(関連施設)もそばにあって、お医者さまや看護師さんも何かあればすぐ来てくださいますから安心です。必要な物はそろっていますし、気楽に過ごせて“手頃な広さでも楽しい我が家”そのものです。どなたかと施設について話す機会があれば、住みよいところですよとお勧めしたいですね。

外国人初(介護職)の就労者にインタビュー

ケアハウスのフィリピン人介護福祉士 「明るく楽しく働いてまーす」

平成30年度清水会グループに入職した新入職者には、海外からの入職者が11名含まれています。今、それぞれの職場で介護福祉士として元気に働いています。ここではフィリピンから来日したミルナ デラクルズ ベンドルさんとグロリオサ トルデシリアさんに、ケアハウスで働く感想や日本の印象を語ってもらいました。(7月にインタビュー)

——富山福祉短期大学を卒業して、ケアハウスの職員として働き始めて3か月が経ちました。その感想をお聞かせください

ミルナさん 介護の仕事は、高貴な仕事です。ご高齢の利用者さまは私の家族、私のおじいさん、おばあさんだと思って接しています。
グロリオサさん(以降愛称のリオさんで) 忙しい毎日ですが、皆さんが優しいし親切なので楽しく働いています。

——どんな時が楽しいですか

リオさん 利用者さまに名前を覚えてもらって、「リオさんありがとう」と笑顔を見せてくださる時が一番うれしいです。仕事はきつくても好きだから少しも大変だと思いません。

ミルナさん レクリエーションで日本の古い歌を皆で歌います。「ふるさと」や「たき火」、「もしもしかめよ」など、歌えるようになりました(笑い)。利用者さまが元気になると、私も元気になります。



——仕事についての目標、あるいはやってみたいことは何ですか

リオさん 仕事の上達して、余裕がでたら、色々な趣味にも挑戦したいです。もっともっと日本語を勉強して言葉の意味がわかるようになりたいですね。

ミルナさん 介護の仕事は幅が広く奥深いと思います。先輩に教わったりセミナーを受けたりして習熟していきたいです。



ミルナ デラクルズ ベンドルさん グロリオサ トルデシリアさん

——日本(人)の印象はいかがですか

ミルナさん 日本は安全で住みやすい国だと思います。日本の食べ物にも舌が慣れてきました。大変おいしいです。日本の果物でリンゴやミカン、カキはおいしいですね。東京や名古屋にも行ったことがありますが大阪が好きです。

リオさん フィリピンには梅雨と夏しかありません。冬や春、秋といった日本の四季は素晴らしいです。富山で80センチの積雪にうずもれてびっくりしました。春の桜もすてきです。来年の春には家族を日本に招きたいと思っています。日本の皆さんは真面目で親しみやすいです。でもちょっと暗いかな。フィリピン人は陽気で明るいです。

——お国のご家族や友人、知人に、日本の印象や仕事のことをどのように伝えますか

ミルナさん フィリピンは大家族で生活していますから介護の仕事は少ないです。でもお年寄りには人間の先輩ですから尊敬しなければなりません。介護の仕事は大事です。そのような仕事についていることに誇りをもって話したいです。

リオさん 後輩たちも日本で働きたいと思っている若い人は多いです。彼ら彼女たちに生きがいを持って働いていることを伝えたいです。

Web介護記録システム c-repoの導入について

当法人では、ICT化の一環として、株式会社エタンセルの【Web介護記録システム c-repo】を特別養護老人ホームさくら苑、特別養護老人ホーム城東こすもす苑、特別養護老人ホーム鶴見緑地苑、ケアハウス鶴見緑地、有料老人ホーム鶴見緑地の5施設で導入をしました。

今までは手書きで記入していた介護記録がパソコン、モバイル(タブレット、スマートフォンなど)で入力ができるようになった事で、記録業務の時間が短縮され、本来の業務である直接介護をする時間が増えました。

また、同じ内容を複数の書類に転記する事がなくなり、無駄な転記作業、転記によるミスもなくなりました。当法人では、今年度、外国から、11人の介護福祉士を受け入れています。

Web介護記録システム c-repoの特徴

- ポイント パソコン、モバイルで簡単に入力
項目チェックと音声入力で記録が可能。
- ポイント リアルタイムに情報共有
手元のモバイル端末でリアルタイムに情報確認
“メッセージ”でスタッフ間の業務連絡も可能。
- ポイント チェック機能でミスを防ぐ。入力時に異常が発見
しやすく、入力漏れも一覧表示して把握でき、
過去の記録もすぐに確認可能。

c-repoは外国の方でも簡単に入力ができるように、開発されたソフトになります。外国の方は、会話や文字を読んだりできても、文字を書くのは苦手な方が多いですが、c-repoでは簡単な項目チェックや音声入力で記録ができるようになっていきます。スマートフォンの取り扱いについては、慣れている方が多く、今では、問題なく使えるようになっています。



介護事業所向けの必須研修教材 e-ラーニング『けあすた』を導入

厚生労働省は「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」の第24条3項において「従業者に対して、その資質向上のために研修の機会を確保しなければならない」と規定しています。対人援助サービスの観点から、専門職としてのスキルアップは求められて当然であるものの外部研修会へ派遣できる職員の数には

限りもあり、職場内で開催できる集合研修(オフ-JT)は重要な位置づけとなります。そこで、今年度からは各事業所内で開催している集合研修(必須研修)の教材としてe-ラーニング「けあすた」というシステムを導入し、プロの講師陣による動画研修を採用しました。

厚生労働省推奨

介護事業所向けの必要研修項目

- 01 認知症及び認知症ケアに関する研修
- 02 プライバシーの保護の取り組みに関する研修
- 03 接遇に関する研修
- 04 倫理及び法令遵守に関する研修
- 05 事故発生又は再発防止に関する研修(福祉用具含む)
- 06 緊急時の対応に関する研修(福祉用具含む)
- 07 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
- 08 身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修
- 09 非常災害時の対応に関する研修
- 10 介護予防及び要介護度進行予防に関する研修
- 11 医療に関する教育、研修
- 12 ターミナルケアに関する研修
- 13 精神的ケアに関する研修
- 14 高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修



クローズアップ
close up!

介護付き 有料老人ホーム 鶴見緑地
認知症カフェについて

当ホームでは今年の6月より、1階エントランスを使用して、月に1回、**紅(べに)カフェ(認知症カフェ)**を開催しています。

認知症カフェとは、認知症である当事者さまとそのご家族さまが気軽に立ち寄れることを目的としたカフェです。また、その方々のみでなく、地域の住民、介護や医療の専門職など誰もが参加でき、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場でもあります。紅カフェでは飲み物の提供の他に、第1回目はたこ焼き、第2回目はかき氷をみんなで作りました。認知症の方も器用にたこ焼きをひっくり返したり、かき氷をご自分の好きなように盛り付けたりして、楽しまれていました。堅苦しいものではなく、時間内はいつ来ても良く、いつ帰っても良いのが認知症カフェです。自宅に閉じこもりがちな方も、気軽に立ち寄って頂くことで、外に出るきっかけになればと考えています。また、守口第6地域包括支援センターの

協力もあり、毎回医療・介護の専門職が参加していますので、認知症に関するご相談もお待ちしています。今後も季節に応じた催しを行っていきますので、皆様お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ先 ☎06-6997-9009



気になる症状【Q&A相談コーナー】

ピロリ菌ってなんですか？

2005年に胃酸の中でも生存する細菌「ヘリコバクター・ピロリ」の発見によりオーストラリアのバリー・マーシャル博士とロビン・ウォレン博士が、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。この細菌は胃炎・胃潰瘍の原因となるだけでなく、胃癌にも深くかかわることがわかってきました。

● そうです、殺菌(除菌)できれば病気を防げるのです。

Q:どのようにしてピロリ菌に感染するのですか？

A:口を介した感染(経口感染)が大部分であろうと考えられています。

乳幼児期の衛生環境と関係していると考えられており、上下水道が十分普及していなかった世代の人で高い感染率となっています。成人への持続的な初感染は通常ありませんし、衛生環境が整った現代ではあまり神経質になる必要はなくなってきました。

Q:ピロリ菌に感染しているかどうかを知るためには？

A: 検査方法には内視鏡を使う方法と内視鏡を使わない方法、合わせて6種類の検査法があります。ただし、健康保険でピロリ菌の検査治療を受けるには、内視鏡検査(胃カメラ)で胃炎などの診断されている必要がありますのでカメラは必要です。

Q:ピロリ菌に感染していたらどうすればいい？

A:ピロリ菌の除菌治療には、胃酸の分泌を抑制するお薬と2種類の抗生物質の3つのお薬が用いられます。この3種類のお薬を一週間服用することで、約8割の方は除菌に成功します。

失敗しても別の薬で2回目の除菌療法が受けられます。



鶴見緑地病院
山本 義尚 医師
YAMAMOTO YOSHIHISA



ケアマネ研修

今年度、一般社団法人西日本介護事業者支援協会の中村光児先生を講師としてお招きし、法人内の介護支援専門員(ケアマネジャー)を対象にした研修を実施しています。

研修内容は、年4回の集合研修(個別研修、管理者研修)、各居宅介護支援事業所を訪問しての直接指導になります。集合研修は、1回目を5月31日(木)の午後から、さくら苑地域交流スペースで開催しました。前半の個別研修は、初級編という事で、法人全体で22名が参加をし、アセスメント・モニタリングの重要性を学びました。後半の管理者研修では、法人内の居宅事業所の管理者、主任介護支援専門員(ケアマネジャー)の12名が参加をし、平成30年度の介護保険制度改正と介護支援専門員の役割を教えて頂きました。講義終了後の質疑応答では、多くの介護支援専門員(ケアマネジャー)からは、日頃から悩んでいる疑問など、活発な質問が相次ぎました。

また、6月25日(月)、26日(火)にさくら苑居宅介護支援センター、7月26日(木)、27日(金)に鶴見緑地病院居宅介護支援センターに来て頂き、直接指導をして頂きました。

普段から疑問に思っている事を実際のカルテを見てもらいながら、指導をして頂くことで、分かりやすく、理解をする事ができました。

今後は、8月30日(木)に2回目の集合研修、9月に橋波居宅介護支援センターに訪問して、直接指導をして頂く予定です。



鶴見緑地病院居宅介護支援センターの指導場面

レシピ紹介コーナー 栄養課



有料老人ホーム鶴見緑地
管理栄養士 佐野真由美
SANO MAYUMI



炒めなます

秋から冬にかけてが旬のごぼうは、水溶性・不溶性ともに食物繊維を多く含み便秘の予防やコレステロールを下げる働きがあります。

多糖類のイヌリンも含むので血糖値の上昇をおさえる作用があり、糖尿病予防にも効果的です。

recipe

【材 料】(2人分)

大根	150g
人参	150g
ごぼう	100g
油揚げ	1/2枚
さやいんげん	30g
油	小さじ1
酢	大さじ1.5
酒・しょうゆ・みりん	各大さじ1
塩・砂糖	各小さじ1
すりこめ(しろ)	小さじ1

【作り方】

①大根と人参は3cm長さの千切りにする。
ごぼうは笹がきにして、水にさらして水けをきる。
油揚げはゆでて湯をきり、細く切る。

②さやいんげんはゆでて、3cmの長さに切る。

③フライパンに油を熱し①をしんなりとするまで炒め、
混ぜ合わせて加え炒める。②のいんげんとごまを
軽く炒める。

